

図 27 advvis 起動画面

表示の準備

AdvVisual はクライアント・サーバ型の可視化システムです。そのため、サーバ起動の手続きを最初に行います。

まず、advvis ウィンドウの**”File”→”Open”**をクリックして、入力定義ファイルを読み込みます(図 28)。

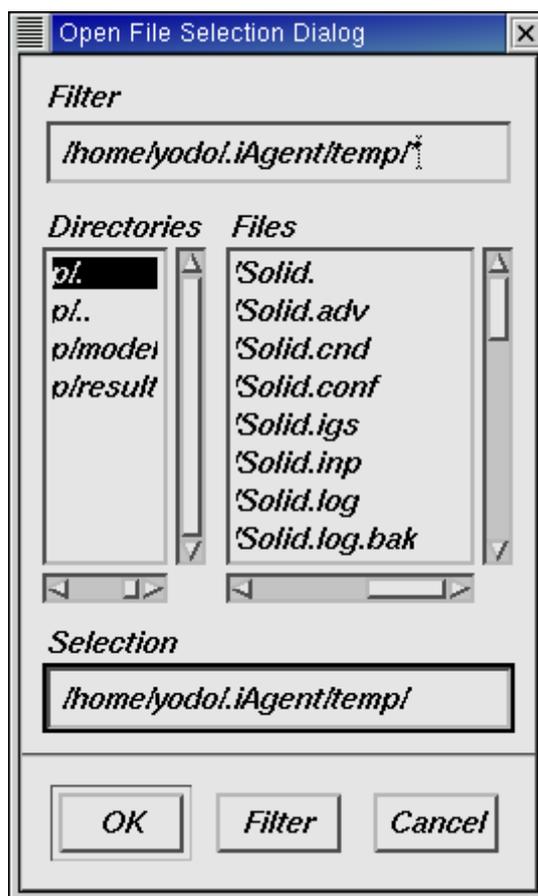


図 28 入力定義ファイルの選択

“Solid.inp”というファイルがありますので、これを選んで”OK”を押してください。

次に、サーバの設定を行います。advvis ウィンドウの”Server”→”Initialize”をクリックすると、サーバ設定ウィンドウが現れます(図 29)。

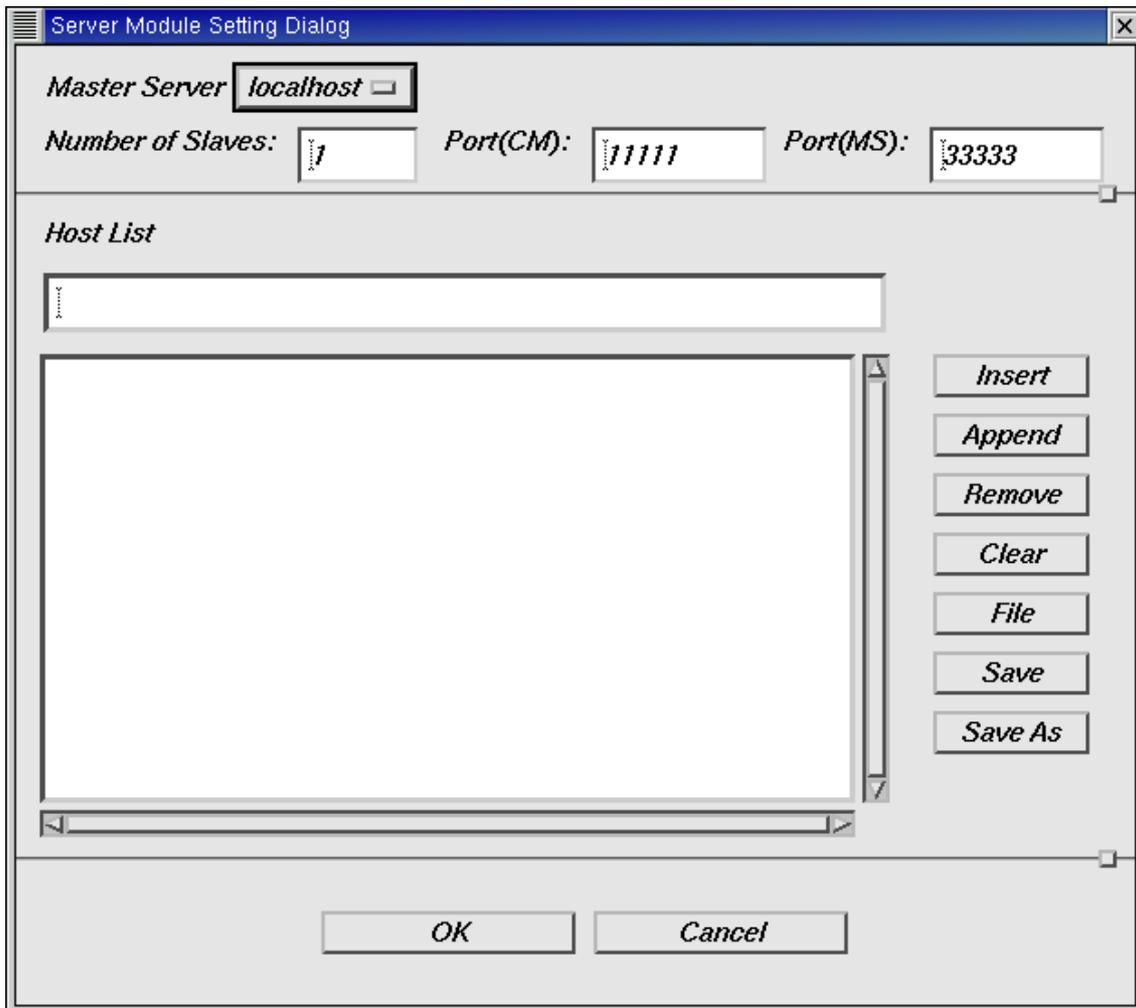


図 29 サーバ設定ウィンドウ

ここでは、サーバを起動するマシンを入力します。すでに iAgent がサーバリストを用意しているので、ここではそれを読み込みます。ウィンドウ右側の”File”ボタンをクリックしてください。ファイル選択ウィンドウが出てきます(図 30)。

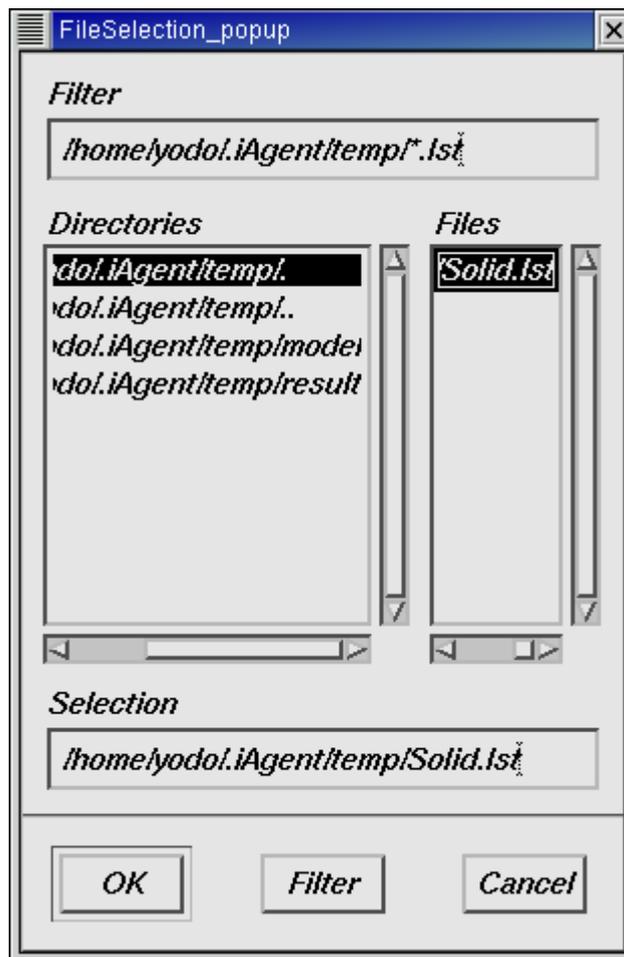


図 30 サーバ起動リストファイル選択ウィンドウ

ここでは、“Solid.lst”ファイルを選択して、“OK”を押してください。サーバ設定ウィンドウ中央の“Host List”に、使用中のホスト名が追加されているのを確認して、“OK”を押してください。

モデル読み込み

モデルを読み込むには、advvis ウィンドウの“Server”→“Control”をクリックしてください。サーバ接続ウィンドウが開きます(図 31)。